

わたなべ 渡辺ふじお

富士雄

Vol. 8
http://www.w240.net/

残暑お見舞い申し上げます。



残暑お見舞い申し上げます。各地で練り広げられた夏祭りの声も懐かしく、次の季節へ準備の頃となりました。皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、今回のエフディーツー通信はこの一年間の取り組み、中でも昨年の水害と「おやじの会」についてご報告申し上げます。夏もこれからが本番です。どうぞ健康にご留意され、お元気で過ごして頂きますよう心からお祈り申し上げます。

2005年9月4日——水害の夜

夏祭り会場で挨拶回りをしていた夜7時半頃、雨が降り始めました。しばらくするとその雨は突如豪雨へとかわりました。役所へ善福寺川の水位を確認すると「警戒水位を超えそうだ」とのこと。あわててカッパを着込み現地に向かいました。

川は既に氾濫寸前。道路は至る所で冠水し車で進むことは困難。区役所に状況を報告し応援を要請。その間にも、冠水した道路で車が次々と立ち往生。あわてて警察と消防にも応援の要請をおこない、近隣の方達と立ち往生の車を押し戻したり、交通整理に必死でした。

雨の勢いは衰える気配なく、水かさが増し、ついには胸まで浸かるほどに。もはや中心部のほとんどの家が床上浸水し大変な状態です。環状八号線から川に向かう道路は濁流状態で、前に進むのも困難を極めます。被害状況の確認に回っていると、ご近所の婦人に声をかけられました。「床上浸水で身動きできない一人暮らしのおばあちゃんがいる、水が凄くて助けに行けない」と。早速救助に向かいました。

激流の中たどり着いた家は停電で真っ暗。部屋はプール状態で、流れ出す家財道具が激しく足に当たります。「○○さあーん」、暗闇に向かって名前を叫ぶと奥から返事が。手探りで進み、ベッドの上で「助けて下さい」と弱々しく叫ぶ婦人を発見しました。水はすでにベッドを濡らしています。「大丈夫ですよ」と婦人を背負って表へ、しかし、腰まで浸かる水の勢いは凄まじくても前に進むことができません。一人では危険と大声で助けを求めたところ運良く二人の警察官と遭遇、なんとか無事に救助することができました。

しかしこの間、次々と携帯電話に入ってくる救援依頼や被害報告。その一つひとつに全て対応することは困難で、後日の対応となったことが悔やまれます。

午前1時を過ぎた頃、雨脚が弱まり水位も下がり始めました。阿佐谷駅前には完全に冠水、商店にはかなりの被害がでています。各商店の方には行政へ復旧支援を要請することを約束し、他の浸水被害の地域も回り終えたのは、夜が明けた頃でした。

昨年の水害は、最悪の被害を出した豪雨でした。雨水対策を見直す動きはありますが、とても追いつかない状況です。やり場の無い怒りを訴える被災者の方々の声を行政に反映し、安心して暮らせる街へ、あらゆる治水対策に取り組んで行かなければと考えています。この一年、水害対策に取り組んだ内容につきご報告申し上げます。

水害に対する情報提供を強化～「7月3日警報等メール配信登録受付開始」

7月3日より、気象情報や河川水位・雨量情報をいち早く区民の方にお知らせするため、電子メールを活用して情報の自動配信サービスが開始されました。また、区公式ホームページにて新たに河川の水位情報と雨量情報が追加されました。ケーブルテレビ(J:COM テレビ)でも情報が提供されます。

- (1) 電子メールにて、次の注意喚起情報が自動配信されます。
 - ・「大雨・洪水注意報、警報が発令されたとき」
 - ・「河川が警戒水位を超えたとき」
 - ・「雨量が基準値を超えたとき」
- (2) 現在、区公式ホームページで、気象情報を提供していますが、新たに「雨量情報」「河川水位情報」を追加されました。「杉並区気象情報」からご覧ください。アドレスは、
<http://micos-service.jwa.or.jp/micos/suginami/>
- (3) 7月3日から、新たに携帯サイトホームページから、杉並区の「河川水位情報」「雨量情報」がご覧になれます。アドレスは、
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/mobile/>
- (4) J:COM テレビ 2チャンネルでも、大雨洪水警報が発令された時や河川溢水の恐れがあるときに、警報情報がテロップで流れます。